

事業番号	10 02 01	事業改善シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業大学校費			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	信州の木活用課	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 1 林業再生の実現			E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S54 ~		

1 事業の概要

目指す姿	林業の専門的知識・技術を身につけ、農山村地域にあつて指導的な役割を果たす林業技術者、林業後継者及び機械化林業の現場で即戦力となる有能な人材を養成する。 目標:平成32年度 林業就業者数 3,000人																														
現状	○卒業生19人のうち、14人が林業関連の仕事に就き、2人が森林関係の大学等へ進学するなど知識と技術は高く評価されている。また、就職者の17人うち14人(82%)が県内で就職している。 現状:入学者数 20人(H25年度)																														
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 公的な森林・林業教育に対するニーズが依然として存在する。																													
事業内容	① 成果目標(H25)																														
	○林業技術者等の人材の育成 20人(入学定員)																														
	② 事業内容 (単位:千円)																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H25事業実績</th> <th colspan="2">H25</th> <th>H26</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林業大学校の運営</td> <td>直接</td> <td>高校卒業程度の学生を対象として、一般教育科目(30単位)および専門科目(95.5単位)のカリキュラムにより専門的知識・技術を体系的に修得させる。 ・総定員数40人 (1学年の入学定員20人)</td> <td>29,367</td> <td>28,158</td> <td>29,489</td> </tr> <tr> <td>林業大学校 教育環境整備</td> <td>"</td> <td>実習棟の改築に伴い女子学生の生活環境を改善するため、女子寮の機能を追加する。</td> <td></td> <td></td> <td>205,711</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>29,367</td> <td>28,158</td> <td>235,200</td> </tr> </tbody> </table>					項目	実施方法	H25事業実績	H25		H26	(当初)	(決算)	(当初)	林業大学校の運営	直接	高校卒業程度の学生を対象として、一般教育科目(30単位)および専門科目(95.5単位)のカリキュラムにより専門的知識・技術を体系的に修得させる。 ・総定員数40人 (1学年の入学定員20人)	29,367	28,158	29,489	林業大学校 教育環境整備	"	実習棟の改築に伴い女子学生の生活環境を改善するため、女子寮の機能を追加する。			205,711	合計			29,367	28,158
項目	実施方法	H25事業実績	H25		H26																										
			(当初)	(決算)	(当初)																										
林業大学校の運営	直接	高校卒業程度の学生を対象として、一般教育科目(30単位)および専門科目(95.5単位)のカリキュラムにより専門的知識・技術を体系的に修得させる。 ・総定員数40人 (1学年の入学定員20人)	29,367	28,158	29,489																										
林業大学校 教育環境整備	"	実習棟の改築に伴い女子学生の生活環境を改善するため、女子寮の機能を追加する。			205,711																										
合計			29,367	28,158	235,200																										

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	30,228	30,808	29,367	235,200
	補正予算				
	合計(A)	30,228	30,808	29,367	235,200
	国庫支出金				
	県債				
	その他(繰入金等)	4,824	4,824	4,830	210,285
	一般財源	25,404	25,984	24,537	24,915
	決算額(B)	28,622	29,932	28,158	
概算人件費	職員数(人)	8.20	8.20	8.20	8.20
	概算人件費(C)	67,716	67,716	67,716	67,716
	概算事業費(B(A)+C)	96,338	97,648	95,874	302,916

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
林業技術者等の育成者数(入学定員)	20人/年	20人/年	20人/年	達成	20人/年

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生19人のうち、12人が林業関連の仕事に就き、2人が森林関係の大学等へ進学するなど知識と技術は高く評価されている。また、卒業生19人のうち16人(84%)が進路先を県内としている。 目標値(入学定員20人)を満たしている。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 森林・林業の担い手を確保するため、今後とも、林業大学校での教育を行う。また、実習棟の改築に伴い女子寮を新設し、女子学生の生活改善を図り、森林・林業の広範な知識を有する林業技術者・林業後継者となる有能な人材を育成することが必要である。 先進的技術である高性能林業機械の実習、実習棟の改築による施設の強化により実技実習を強化するなど、林業大学校生のスキルアップや他県の林業関連学校との交流促進に継続して取り組む必要がある。 		